

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	森岡 進弥	学校名	豊田市立飯野小学校
実施学年	小学校 4 年生	教 科	社会
単元名	住みよいくらしをつくる 水はどこから		

《学びを深めたいポイント》

本実践は、生活に必要不可欠な水を、普段の生活の中でどのように使っているのかを考える授業を行った。この授業の目的は、普段何気なく使っている水が、自分たちが思っている以上に使っていることに気づかせることを目的としている。授業の流れは以下の通りである。

- ① 生活に必ず必要になるものとは何か考える。
- ② 生活に必ず必要となる水が普段どのように使っているのか考える。
- ③ 自分たちの生活以外の場面でも水が使われていないか考える。
- ④ 集めた情報を整理する。
- ⑤ 整理した情報をもとに、他の児童に共有する。
- ⑥ 水の使われ方について、家族単位でどれほど使われているのか考える。
- ⑦ まとめと振り返りを行う。

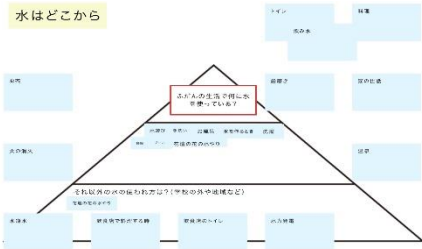
この授業を通して、子どもたちは普段何気なく使っている水が生活の場で、多く使っていることに気づかせ、自分たちの生活に欠かせないものだと感じてほしい。そこから、水についての関心を高め、この水を提供してくれる市の取り組みや浄水場の仕組みなどの学習に繋げていきたい。

《SKYMENU 活用のポイント》

本実践の SKYMENU 活用のポイントは、導入部である。SKYMENU の気づきメモを活用し、水の使い方について児童たちから実生活を振り返り、意見を引き出していく。その後、気づきメモから発表ノートへ送る機能を活用し、思考ツールを併用し、自分の意見を再構築する。その後、再構築した自分の意見考えをグループで共有し、全体で発表を行う。

最初のぼんやりとした考えを児童それぞれから出し合い、それを自分の考えと合わせて取り込み、再構築する。この活動を導入部のプロセスとして授業を行っていく。アナログ的な活動だと発表させたり、席を動かして移動したりと時間がかかるが、SKYMENU の機能を活用することで大幅に短縮することができ、かつ、簡単に意見を共有することができる。自分の考えをしっかりと見つことができ、児童たちが同じ土俵にたって、展開部に臨めることもできだろう。

<<実践内容>>

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	1 前時の振り返りを行う。	気づきメモを活用し、前時の板書を登校する。 前の授業の振り返りです。どんなことを考えたか思い出してみましょう。 	気づきメモで前時の板書を共有することで、水が生きていくために必要なものだという意見が出たことを確認する。
展開	2 普段の生活で水を何に使っているのか考える。 3 自分たちの生活以外では、どのような使われ方がしているのか考える。 4 共有した意見を、自分の意見として再構築する。 5 意見をグループで共有する。	気づきメモを活用し、意見を出していき、共有する。 グループ1 2024年6月26日(水) ふだんの生活で水をどのように、何に使っているか 9:39 手洗い 9:39 お茶を作る 9:39 手洗い 9:39 飲み水 9:39 手洗い 9:40 気づきメモから発表ノートに共有した意見を取り込み、情報を整理する。 ※意見を再構築している様子 水はどこから  水はどこから 	気づきメモを活用することで、意見がもてない子も他の人の投稿を見ることで、思い出したり、考えをもてたりすることができる。 気づきメモで共有をしたものを自分の発表ノートに取り込み、思考ツール「ピラミッドチャート」を使い、情報を整理する。 発表ノートのグループワークの機能を活用し、再構築した意見を交流する。

ま と め	6 本時の振り返りを行う。	発表ノートで振り返りを書くように まとめ 自分の家では、水をお風呂やトイレに多く使っていることが分かりました。また、地域でも温泉や消防車の水などの使われ方をしていることに気づけました。	発表ノートのグループワークの機能を活用し共有をすることで、どんな振り返りが書けるとよいか友達の意見を参考に書くことができる。
-------------	---------------	---	--

《実践を振り返って》

気づきメモを活用し、発表ノートにまとめるというプロセスを社会科の授業のルーチン化するように意識をしている。今回の実践でもそのプロセスを踏むことができた。今、担当している児童たちも慣れてきており、スムーズな展開を行うことができた。今までのアナログ的な授業だと、意見を考え、発表させ、板書してと、時間と労力を使っていたものが、SKYMENU を使うことで大幅に短縮することができた。短縮できた分、他の発表の仕方やグループワークの仕方など違う面での大切な指導ができるようになった。また、中々意見を考えられない児童も、気づきメモの友達の意見を見ることができ、自分の考えをもてるようになり、他の子と同じ土俵に立って、グループワークを行うことができた。そういった特別な配慮が必要となってくる児童にも SKYMENU の機能が有効だということを示すことができた。

ICT 機器が普及し、情報を集約したり、整理したりする力がいかに大切か顕著に表れる時代の中、児童の情報活用能力を育てていく必要がある。そこで SKYMENU の機能は、情報活用能力を育てていくのに、とても有効なものだと実感することができた。今後も、積極的に SKYMENU を活用し、児童たちを育てていきたい。